

## 第400回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成23年4月28日(木) 10:00～12:00

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>古田元夫 <委員>久保文明、大江和彦、高田毅士、月本雅幸、寺島一郎、  
本間正義、伊藤正直、鍛冶哲郎、根本 彰、村田茂穂、平地健吾、月橋文孝、  
須田礼二(代)、橋元良明、山梨裕司、栗田 敬、池本幸生、中村圭介、畑中研一、  
保谷 徹、川崎雅裕、金道浩一、安田一郎、玉井克哉

※(代)は代理出席者

<オブザーバー>河野重行、中川裕志(代)、堀 浩一

欠席者 白髭克彦

列席者 田中成直、木村 優、高橋 努、北村照夫、風巻利夫、茂出木理子、増田晃一、福井明美、  
吉田左貴子、高嶋秀介、大澤正男、風巻みどり、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、  
本多 玄、森田美由紀、石川一樹、佐藤英之、細谷孝子

### 配付資料

1. 第399回図書行政商議会議事要旨
2. 平成23年度図書行政商議会委員名簿
3. 附属図書館運営委員会の構成員について
4. 附属図書館サービス特別委員会委員設置要項及び同委員会名簿(案)
5. 東京大学附属図書館研究開発室員名簿(案)
6. 総合図書館運営委員会委員の選出に関する申し合わせ及び同委員会名簿(案)
7. 駒場図書館運営委員会 指名候補者(案)
8. 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について
9. 東京大学OPACの検索ログの利用について
10. 新図書館構想の骨子
11. 新図書館構想推進体制
12. 東日本大震災による被災大学等への支援及び図書館の開館日程について
13. 平成23年度図書行政商議会開催日程

### <開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長挨拶の後、出席委員、事務職員の自己紹介がおこなわれた。

### <議 事>

#### 1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第399回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

## 2. 協議事項

### (1) 図書行政商議会副委員長の選出について

副委員長の選挙が行われ、根本 彰教授（大学院教育学研究科）が選出された。

### (2) 附属図書館運営委員会委員の選出について

各キャンパス部会から以下のものが選出された。

本郷キャンパス部会 人文系研究科 橋元良明教授（大学院情報学環・学術情報学府）

自然系研究科 高田毅士教授（大学院工学系研究科）

人文系研究所 中村圭介教授（社会科学研究所）

自然系研究所 栗田 敬教授（地震研究所）

駒場キャンパス部会 平地健吾教授（大学院数理科学研究科）

玉井克哉教授（先端科学技術研究センター）

柏キャンパス部会 金道浩一教授（物性研究所）

### (3) 附属図書館サービス特別委員会委員の選出について

古田委員長から、委員案（資料4）が示され、案のとおり了承された。

### (4) 附属図書館研究開発室員の委嘱について

古田委員長から、委員案（資料5）が示され、案のとおり了承された。古田委員長から、堀 浩一教授には館長補佐担当として「電子ジャーナル関係の担当」をお願いする旨の発言があった。

### (5) 総合図書館運営委員会委員の選出について

古田委員長から、委員案（資料6）が示され、案のとおり了承された。

### (6) 駒場図書館運営委員会委員の指名について

古田委員長から、委員案（資料7）が示され、案のとおり了承された。

### (7) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

協議に入るにあたり、高橋情報管理課長から「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について」の現状と経緯について資料8-1にもとづいて説明があった。古田委員長から資料8-2にもとづき、部局負担金算出方式を前回の図書行政商議会での審議、およびその後の図書館担当理事・財務担当理事との協議をふまえて改定した館長第二次案の骨子について提案説明があった。また館長第二次案にもとづき試算した各部局負担額を5月10日をめどに送付するので、各部局で検討していただき、5月26日開催予定の臨時図書行政商議会で審議していただきたい旨の発言があった。委員からは、予算規模に間接経費を入れることへの懸念、激増緩和策を第二次案にいれるべきではない、部局負担額は毎年度の根拠となる予算規模・構成員数により再計算されるのか否か、全学の負担試算額一覧を提供して欲しい等の質問・意見が出された。古田委員長から部局の予算規模を測る指標として間接経費を含めて考えており、財源については部局の判断にゆだねていること、算出根拠の一つとなる経常経費については現行の仕組みで基準物件費と呼ばれているものを基本的には継承すること、部局負担額は根拠とする数字の変化を毎年度反映させること（※平成23年5月10日付「「全学共通経費の財源（館長第二次案）」に基づく部局負担額の試算について（送付）」により部局の基準負担額

は4年間固定とする旨の訂正を行っている)、全学の負担試算額の状況についてはある程度見えるような工夫ができないか至急検討したい、激増緩和策については一律の基準の立て方と区別して議論していただきたいとの発言があった。

委員から全学共通経費で購入する雑誌のタイトル入替の可否についての質問があり、高橋情報管理課長から2012年に向けては事務処理上無理であり、現実的には2013年のタイトル入替を想定しているとの説明があり、古田委員長からは遅れが出てしまうが、タイトル入替自体は必要なことだと認識しているとの発言があった。

#### (8) 東京大学OPACの検索ログの利用について

中川委員から資料9にもとづき、提案説明があった。委員からは蓄積した情報の扱い方、利用者の限定のルール等を明文化してから審議した方がいいのでは等の意見があった。古田委員長から、研究開発室で具体的なルール案を検討して再度図書行政商議会で審議していただくとの発言があった。

### 3. 報告事項

#### (1) 新図書館構想の骨子について

古田委員長から、資料11のとおり新図書館構想推進委員会が正式に発足し、資料10の新図書館の構想骨子については同委員会で承認の上、役員会及び科所長会議へ報告された旨の報告があり、図書館の在り方に関する重要な事項なので今後も適宜進捗状況を報告し、図書行政商議会での審議を仰ぎたい旨の発言があった。

#### (2) 東日本大震災による被災大学等への支援及び図書館の開館日程について

木村総務課長から、資料12にもとづき報告があった。

### 4. その他

#### (1) 平成23年度図書行政商議会開催日程について

古田委員長から、資料13にもとづき今年度の図書行政商議会を開催する日程について説明があり、7月以降は定例であるが、5月26日は臨時で開催させていただきたい旨の発言があった

〈閉 会〉